

生徒会テーマ：感謝 ～「ありがとう」で溢れる学校へ～

2月(如月)に入りました。

早いもので本年度もあと2か月です！

2月は旧暦で「如月(きさらぎ)」といわれます。「如月」という言葉の由来を調べてみると、いくつかの説があるようです。寒さで着物を重ねて着ることから「着更着(きさらぎ)」とする説が有力のようですが、中には草木が生え始める月であるから「気更来(きさらぎ)」
「息更来(きさらぎ)」とする説もあるようです。2月3日は「節分」、4日には「立春」を迎え、春の訪れを期待される月であります。しかしながら、実際は一年の中で最も寒さが厳しく、雪も多い季節になります。朝起きて車のフロントガラスを見ると真っ白に霜が降りていますので、まだまだ寒さが続くようです。

ところで、1月の中旬から日本中でインフルエンザが大流行しています。ようやく本校では落ち着いてきましたが、予断を許さない状況であることは間違いありません。外出から戻ったら必ず手洗い、うがいの励行をお願いします。

さて、1月から私立高校の推薦・一般入試が始まり、2月5日は公立高校の推薦入試日です。また、14日(木)からは公立高校一般入試の願書受付が始まります。巷では「バレンタインデー」で浮かれている人もいますが、受験生はそうはいきません。3月6・7日の公立高校入試に向けて、粛々と勉強机に向かう毎日になります。また、現在は5教科の試験だけでなく、必ず「面接」があります。昨年末から疑似面接を行っているところですが、残念ながら全体的に挨拶や受け答えに元気がありません。疑似面接を受けた生徒には事後指導として以下のことを伝えています。

- 1 質問に対する回答は、どこの中学校でも練習するので、答えられて当前であること。
- 2 自分でまとめた回答を丸々暗記して言うのではなく、伝えたい内容の柱をいくつか用意して、それをもとに自分の言葉で答えること(丸暗記だと一回引っかかると次がでてこず沈黙してしまうので、その場で臨機応変に回答できるようにしておくこと)。
- 3 第一印象を大切にすること。高校側がどんな生徒が欲しいかを考えると自ずとどうすべきかが見えてくる(はきはきとした大きな声であいさつや返事をし、少し心に余裕をもってにこやかな笑顔で対面できるように努力すること)。
- 4 もっと自分の良さをアピールすること。自分の内面は自分でしか言えません。良いところがない生徒を高校側はほしいと思いますか？

高校入試が、人生を大きく左右するとまでは言いませんが、人生の大事な岐路であることは間違いありません。体調管理を万全にし、ベストの状態を受検に臨みたいものです。そのためにもご家庭でのご支援をよろしくお願いします。

【定期テストと実力テストの違いとは？】

後期後半が始まってすぐに実力テストがありました。また、2月13日(水)から定期テストが行われます。

さて、この2つのテストの違いがわかりますか？

当たり前のように行われている割には、わかりにくい部分かもしれませんので、ここで改めて説明をしたいと思います。

◎定期テスト

テストに出題される範囲が決まっています。例えば、今回のテストでは、前回の定期テストの出題範囲後から現在学習しているところまでとなります。そして、その結果が通知表の観点をつける



ときの一部の材料となります（テストの成績だけで評価が決まるわけではありません）。

◎実力テスト

テストで出題される範囲は決まっています（1年生の初めから現在までの中から出題されます）。現在の本人の実力をみるテストですので、直接的に成績に関わることはありませんが参考にはされます。定期テストでよい点数であっても実力テストでよくなければ、学力がついていないということです。定期テストは短期間で集中して勉強すれば対応できないことはありませんが、日々の継続した学習の取組がなければ、実力テストには反映されません。高校・大学進学を考えているのであれば、実力テストで結果をしっかりと残さないと、3年生で大変な思いをすることになります。



本校の生徒の実態をみると、大分授業態度もよくなり、真面目に受けるようになってきました。教科担任の話からは、小テストなどをすると出来は良いとのこと。ただし、その場限りが多く、別日にすると全くできないことのほうが多いとのこと。つまり、理解力はあるが継続して学習に取り組んでいないため、すぐ忘れてしまっているのが現状です。また、家庭学習の状況においても、宿題や自主学習ノートの提出が悪いようです。この面の克服が本校の学力向上の鍵になると思われます。

学校では、さらに研修を深め授業改善に努めていきますので、ご家庭でも毎日の復習や予習に取り組む時間を設けてください。学校と家庭との両輪でバランスよく進んでいくことで学力の向上が期待できます。佐世保で一番高い学力の学校づくりを目指して邁進して参りますので、ご協力とご支援をよろしくお願いします。

【家庭教育講座を開催しました。】

1月24日（木）に家庭教育講座として、メディア指導員であり本校の一期生である 長島 學 様を講師として招き、「スマホ・ネットの落とし穴 中学生の君たちへ」と題し講演を行っていただきました。内容としては、SNSの種類と影響、ネットの特性とトラブル、ネットによる犯罪、スマホ使用と学力との関係など、現代社会の喫緊の課題をパワーポイントを活用しながらわかりやすくお話していただきました。残念ながら保護者の方の参加は少ないものでしたが、下記のような感想があり、大変有意義な時間となりました。ご多用の中、ご講演いただいた長島様、参加していただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

《保護者の感想》

- ・進んでいくネット社会の中で使われる・支配されるのではなく、コントロールして使えるような大人になることが大切だと感じました。
- ・メリット・デメリットというものをしっかり考え、SNS以外でもそうですが、デメリットにあった時にどうなるかを考えられる大人になってほしいです。
- ・今日の講話を機会に、再度家庭で確認作業をしていきたい。
- ・何気にやっていることが将来までも響くと学び、大人も子供も勉強になりました。もう一度しっかり考え行動したいと思いますし、子供とも確認したいと思いました。
- ・スマホのトラブルは持たせている親の責任。家庭でのルールを決めてしっかり管理することが大事だと思った。
- ・自分も被害にあうかもしれないという意識をもってスマホを使わなければいけないと思いました。子供が加害者や被害者にならないよう親も気を付けなければいけないと思いました。

